

# 有終の塵

リミットのあるゴミ問題を逆算して“終息した”と仮定する。仮定から必要数が減少して余った清掃工場をコンバージョンすることが想定される。

そこで現在からコンバージョンされる事を内包した清掃工場を提案する。

それにより、ゴミを減らす事が同時に清掃工場の変えていく意味を持つ。

街の人々と清掃工場の新しい関係性を築き、より環境を意識できると考える。



## 1 最終埋立処分場

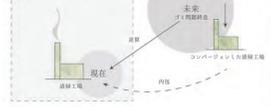
東京都23区から発生したゴミを埋立てる最終埋立処分場は東京都内における最後の処分場である。分別リサイクルの促進等により埋立処分量は年々減少しており、残存数は50年以上とされている。量に限りがある埋立処分場の残存年数を少しでも延ばすためには、ゴミ減量、3Rへの取り組みが必要不可欠である。



## 2 逆算思考 - 終わり方から考える - 提案

リミットのあるゴミ問題を逆算して“終息した”と仮定する。仮定から必要数が減少して余った清掃工場をコンバージョンすることが想定される。そこで現在からコンバージョンされる事を内包した清掃工場を提案する。

それにより、ゴミを減らす事が同時に清掃工場の変えていく意味を持つ。納まり方を内包する事で環境を豊かにできるのではないだろうか。

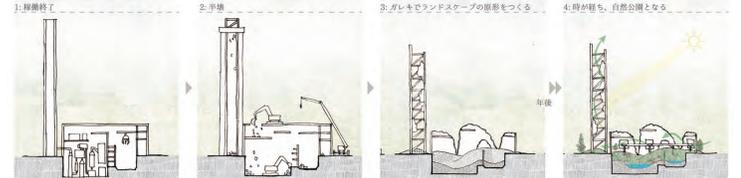


## 3 都市清掃工場の在り方

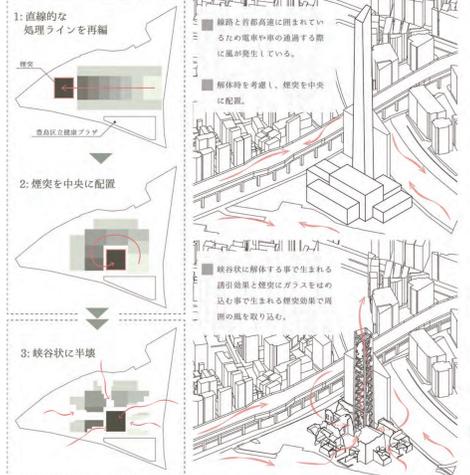
【敷地】東京都豊島区上池袋  
人口密度にありながら敷地と高度制限に制られ、高層のようには存在する既存の清掃工場。敷地の必要性は認められるものの典型的な連続施設(NIMBY)として、都市に閉ざされている。



## 4 自然公園となるまで



## 5 風を集める



## 6 サードプレイスとなる半壊部分

